

環境出前授業プログラム一覧（1/2）

ごみの分別や3R、買い物や地産地消のできるエコ、地球温暖化・気候変動への世界、日本、川崎の取り組みなどをテーマに、体験型やゲームで楽しみながら学べる多彩なプログラムを、市民活動グループ、川崎市地球温暖化防止活動推進センターで実施しています。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

2023年4月

ジャンル	No	タイトル	ねらい	内容	所要時間	担当グループ
温暖化・脱炭素	1	脱炭素とSDGs 3Rとごみ・マイクロプラスチック・食品ロス	適切な分別の大切さとごみを減らす生活が地球温暖化防止・脱炭素につながることを学ぶ。今問題のマイクロプラスチックや「食品ロス」について、SDGsの目標とともに学ぶ。	① 3Rや川崎市のごみ減量に向けた取り組みや分別(8分) ② 「食品ロス」と「マイクロプラスチック」の説明(各8分) ③ 事業者の取組むさまざまなリサイクル(8分) ④ 分別体験ゲームまたは3Rカードゲーム(選択可)(10分)	約40分	3R推進プロジェクト
	2	SDGs 地球温暖化とは～見て、触れて、感じて～	温暖化の仕組みを理解し、電気の使用と二酸化炭素発生との関係を理解し、SDGsとの関係を知り、自分や家庭でできる省エネ内容を考えて、実行・継続するキッカケとする。	①温暖化の仕組み、世界・日本で起こっている異常現象等を学び、自分にできる省エネ活動は何か考える。 ②エネルギーは疲れる！ 手回し発電機で、エネルギーを作り出す実験、更に電球の種類と二酸化炭素発生、電気代の違いを実体験する。	45分	省エネグループ
	3	SDGs 2050年実質CO2排出ゼロ実現への取り組み！	温暖化は、エネルギー消費と密接に関係していることを学び、その上でグループで学校内の電気・水のエネルギーのムダを見つけ、対策を考え発表すると同時にSDGsとの関係を考える。	①節電・節水の必要性を理解し、更に家庭での消費電力量を把握し、自分たちで取り組む節電・節水を考える。 ②その上でグループに分かれて学校内のエネルギーのムダを発見し、まとめて発表する。そして、自分や家庭で出来る対策を考え実行継続するキッカケにする。	45分	省エネグループ
	4	エシカル消費で脱炭素とSDGs	エコライフの必要性を地球温暖化とSDGsの関連で理解し、日常の生活のなかで取り組める買いものを通して、脱炭素社会、プラスチックフリー実践へと導く。	①脱炭素について ②消費者庁の動画やエシカル消費教材を使って、SDGsとの関連を理解し、環境ラベルをワークショップ形式で学ぶ。	約40分	グリーンコンシューマーグループかわさき
	5	食べものをめぐる旅	エコ暮らしを実践するなかで、毎日とる『食』をテーマに、旬、地産地消、さらに今課題となっている食品ロスとSDGsに焦点を当て、広告チラシとワークシートを使って行う。	① 温暖化について説明し、食で出来ることを探す ② スーパーの広告チラシから旬を探し、旬について学ぶ ③ チラシから、外国産の食べものを探し、地産地消、フードマイレージについて学ぶ ④ 食品ロスについて学ぶ ⑤ 食品ロスを減らすために、自分に出来ることを書く	約40分	グリーンコンシューマーグループかわさき
	6	もったいない鬼ごっこ	本来食べられる食品が、日本では約642万トンも捨てられている。子どもたちに人気の「増え鬼ごっこ」で「食品ロス」の発生について体験し、地球温暖化とSDGsを考えるきっかけにする。	食品ロス問題とSDGsについて、講義と体を動かすことを交互に繰り返しながら学ぶ。参加者にはにんじん、大豆、麦、アジという「食材」になり、「フードロス鬼」から逃げる鬼ごっこを行う。食材が生産され、加工され、流通され、消費され、無事に食べられるとゴール。最後は振り返りとまとめ。	約40分	グリーンコンシューマーグループかわさき
	7	エコ暮らしすごろく	食品ロスやプラスチックを減らすことは温暖化防止にもつながり、SDGs目標でもある。世界と日本の現状を学び、すごろくをグループで作成し、脱炭素社会、プラスチックフリーなどの実践活動につなげる。	① 食品ロス、又はマイクロプラスチックについての話(10分) ② グループワークで食品ロスまたはマイクロプラスチックすごろく作り(20分)A3用紙に関連する設問を貼り、マスを書き加えて作る。③ 自分たちで作ったすごろくを試してみる(10分) ④ 最後に質問とまとめを行う(5分)※「エコショッピングクッキングBOOK」	約45分	グリーンコンシューマーグループかわさき
	8	環境ラベルゲーム	SDGsの使う責任、気候変動対策を環境ラベルから学び、環境ラベルゲームで脱炭素社会やプラスチックフリーについて知識を確認する	①環境ラベルについてスライドトーク(20分) ②環境ラベルゲーム(20分) ③最後に質問とまとめを行う(5分) ※「るじいちゃんとのみいちゃんの「エコショッピングクッキングBOOK」がテキスト	約45分	グリーンコンシューマーグループかわさき
	9	カーボンフットプリント・ゲームで学ぶ「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」	食べる、住む、移動する、買う、遊ぶから、二酸化炭素が発生している。どうすれば、2050年に脱炭素を実現し、温暖化を止めることができるか、ゲームを通して学ぶ。	①地球温暖化の仕組み、課題を学ぶ ②カーボンフットプリント・ゲームで、毎日の生活の中で、二酸化炭素(CO2)を減らし温暖化を止める方法を学ぶ。 ③(2時限版)カーボン・フットプリント(二酸化炭素の足跡)で、分野別CO2排出、国毎のCO2排出量を学ぶ。	約40分	環境教育学習プロジェクト
29	気候変動適応のミステリー(探求学習)	台風・水害、農作物への影響、熱中症等、様々な気候変動の影響に気づき、その問題に対応する「気候変動適応策」について学び、出来ることを考えます。	①ミステリーカードに書かれている「気候変動」は本当に起こっているか、ワークシートで学びます。 ②その問題が身近なところでも起こっているか、また、どのような対策があるか、何をしていくことが必要かを考えます。	約40分	環境教育学習プロジェクト	
SDGs	10	カードで学ぶSDGsと脱炭素	食品ロスやマイクロプラスチック等の問題が環境だけでなく社会や経済、SDGsの目標がどのようにつながっているかを学ぶ。SDGsカードを使い自分に出来る事の実践につなげる。	①3R、脱炭素とは何か。川崎市の取り組み ②プラスチック(プラスチック資源循環促進法含む) ③食品ロスについて ④SDGsカードから気になる目標を選んでクイズに挑戦！(10分) ⑤発表しよう(5分) ⑥まとめ(3分)	約40分	3R推進プロジェクト
	11	温暖化からSDGsを考えてみよう！	温暖化は、食料不足、生態系への影響等SDGsと密接に関係していることを学び、その上でグループ討論し自分で出来る省エネ行動のキッカケにする。	①温暖化で起こる様々な現象を写真などから学ぶ ②グループで取り組むテーマを選び、グループ討論する ③討論内容をまとめて発表する 一連の学習でSDGsとは何かを理解し、行動に繋げるキッカケとする。	45分	省エネグループ
	12	クイズで学ぶSDGsと食品ロスと水	SDGsについてクイズで分かりやすく学び、生活に欠かせない食と水について参加型で知識を深め、脱炭素社会実現などの実践活動につなげる	①SDGsの背景と17目標について(23分) ②食品ロス(10分) ③水(7分) ④質問とまとめ	約40分	グリーンコンシューマーグループかわさき
	13	SDGsと衣食住	SDGsが自分たちの衣食住の生活とどのように関わっているかを学び、脱炭素社会、プラスチックフリーなどの実践活動につなげていく	①SDGsの背景について(10分) ②衣 ファッションロスなど(10分) ③食 地産地消、食品ロス、パーソナルウォーターなど(10分) ④住 断熱、木材利用、再生可能エネルギーなど(10分)	約40分	グリーンコンシューマーグループかわさき
	14	気候変動対策からSDGsを学び、SDGsへの取り組み実践を考える	市内の様々な気候変動対策を知り、SDGsの視点～複雑性、関係性、統合性～を学び、脱炭素への提案から、SDGsのゴールを目指して、出来ることを考える。	①世界で起こっている異常気象、温暖化の影響を知る ②市内の市民、企業、役所の様々な気候変動対策を知る ③生活を変えることが二酸化炭素削減につながることを学ぶ ④SDGsの複雑性、関係性、統合性を学び、個人、家庭、地域でできるSDGs実践を考える	約40分	環境教育学習プロジェクト

川崎市地球温暖化防止活動推進センター
川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2 11階エレベーターホール前
電話044-813-1313 ファックス044-330-0319
メール office@kwccca.com



ダットンペアズ

裏ページへ

環境出前授業プログラム一覧（2/2）

太陽光発電などの自然エネルギー、地球温暖化と電気、節電・省エネ、エネルギー、植物の働き・効用などをテーマに、体験型やゲームで楽しみながら学べる多彩なプログラムを、市民活動グループ、川崎市地球温暖化防止活動推進センターで実施しています。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

2023年4月

ジャンル	No	タイトル	ねらい	内容	所要時間	担当グループ
エネルギー	15	お日さまエネルギーを体験しよう。地球温暖化と自然エネルギー	太陽エネルギーを体験する。いろいろな自然エネルギーを知り、持続可能な社会を作るために、私たちが使うエネルギーを考える。	地球温暖化の現状を知り自然エネルギーを増やすことで温暖化防止ができることを学ぶ。屋外で太陽光発電とソーラーラッキングを体験。電気は自分でも作れること、熱利用もできることを知る。太陽光設置学校では発電の仕組みとどれだけ発電しているかを説明する。	約45分	ソーラーチーム
	16	節電にみんなで取り組もう！	電気の供給量と需要量の関係、なぜ節電が必要かを理解してもらい、自分や家庭でできる節電内容を考え、実行・継続するキッカケとする。	①節電の必要性を理解し、更に家庭での消費電力量を把握し、自分たちで取り組む節電を考える。 ②エネルギーは疲れる！ 手回し発電機で、エネルギーを出し出す実験、更に電球の種類と二酸化炭素発生、電気代の違いを実体験する。	45分	省エネグループ
	17	エネルギーてなあに？	現在の私達の生活を支えているエネルギーの大切さと今直面しているエネルギー問題を理解してもらい、エネルギーを大切に使う心を養うキッカケとする。	①わたしたちの生活はさまざまなエネルギーによって支えられている。②そのエネルギーの基の化石燃料に限りがある。③それを燃やすことで温暖化をひきおこすCO ₂ を排出する、などの課題があることを学ぶ。その課題を解決するために自らがどう取り組んでいくかを考える。	45分	省エネグループ
	18	水素が地球をすくう！ —燃料電池とは一〜見て・触れて・感じて〜	燃料電池とはどんなものか、その燃料電池の応用例から、燃料電池に使う水素は、何故地球を救うことになるのか、未来を変えてくれる新しい技術なのかを知り、新しいエネルギーの可能性を考えるキッカケとする。	①電池の種類を学び、燃料電池の仕組みを学び、燃料電池を知る。 ②燃料電池の応用例を知り、川崎市のとりくみなど身近に使われはじめていることを知る。 ③燃料電池に使う水素が、何故地球を救うことが可能なのか、地球温暖化防止とどうつながるのかを考え、新しいエネルギーの可能性を考えるキッカケとする。 ④燃料電池を作り、LED、電子オルゴールを動作させる体験をする。	45分	省エネグループ
	19	温暖化防止に向けた市・区内の「省エネ・創エネ施設について」	地球温暖化の仕組みを理解し、温暖化防止に役立つ市・区内の省・創エネに取り組む施設があることを知る。そして、自分で対策を考えるキッカケとする。	①温暖化の仕組みを学ぶ ②CO ₂ 排出量を削減する省エネの生活と設備の両立が必要で、CO ₂ を削減している市・区内の省エネ・創エネの設備を勉強し、自分たちで取り組める省エネ生活は何かを考え、実行することを考えるキッカケとする。	45分	省エネグループ
スライフル	20	脱炭素を目指そう！ 3Rカードゲーム	身近で使うものが不要になった時、3つの「R」のどれにあたるかを考え、環境やSDGsとのつながりを確認する。適切な分別とごみ減量の重要性を知り、環境問題に関心をもつ。	①川崎市のごみと3Rと脱炭素 ②3Rカードゲーム、グループ、または個々で考え、全員で共有する。（日常生活の中で出る廃棄物や身の回りのものが3Rのどれに当てはまるかを考えることで、3Rの実践力を養う）・分別体験ゲームとまとめ	約40分	3R推進プロジェクト
	21	SDGs はっぱはえらい—樹木と二酸化炭素=	温暖化の仕組みを理解し、木が地球温暖化防止に役立っていることから自然に関心を持ってもらい、自分ができる内容を実行・継続するキッカケとする。	①教室で温暖化の仕組みとはっぱの働きを学ぶ。 ②校庭に出て「わたしの木」を決めて幹回りを測定し、その木が吸うCO ₂ 量を計算し、更にCO ₂ を排出する家電、自動車などと比較して、樹木/森林の役割（とくに光合成）が温暖化防止に役立っていることを理解してもらおう。	45分	省エネグループ
自然	22	五感を使って、生きものとの縁に親しみ、「フィールド・ビンゴ」で見つけるネチャーゲーム	学校敷地内や近くの森にいる、いろいろな生きものと縁を、見て、聞いて、匂いを嗅いで、触って、探して、普段気づかない豊かな自然を五感で楽しみます。	①ガイダンス、進め方、注意事項の説明(10分) ②学校敷地内、または近くの公園や森で、様々な生きもの、縁を探して、五感を通した「記録」を行う(40分) ③振り返り。地域の縁、自然への気付きにつなげる(10分) ※オプション：縁のカーテン、植物の涼しさの秘密	約60分	環境教育学習プロジェクト
	28	生物多様性が危ない！ 森や木から考える	身近な自然の豊かさを知って生物多様性を守ることの大切さを学ぶ。自然環境の中での森や木の役割を知って、地域の縁の現状とこれからについて学ぶ。生物多様性の危機の原因を考えて、私たちの暮らしを見直す。	①「生物多様性クイズ」での生物多様性の危機の原因について考えてみる(10分) ②自然環境の中で森や木の役割と生物多様性についてスライドで学ぶ(20分) ③緑地や里山の森や木の異変で生物多様性にどんな影響があるかをみんなで話しあう(15分)	45分	川崎サバイバル
その他・全般	23	給食の牛乳パックは今どうなっているの？	学校給食の牛乳パックがどうなっているか？リサイクルするためにはどうしたらよいかを専門家の情報を交え伝え、児童たちに考えてもらおう。脱炭素・SDGsの取組としても、有効。	①SDGs・脱炭素と川崎市の取り組み(10分) ②牛乳パックは今どうなっているか？(5分) ③牛乳パックの製造工程(6分)・④牛乳パックのリサイクル(10分) ⑤みんなで考えてみよう(10分) ⑥まとめ(3分)	約40分	3R推進プロジェクト・グリーンコンシューマーグループがわかき
	24	川崎の環境・エコへの取り組みを学ぶ(キャリア在り方生き方教育)	川崎における公害克服、川の汚染、環境対策、地球温暖化防止への市民、事業者、行政の共生、協働の取り組みを学び、郷土を大切にすることを考える。	①川崎の環境への取組の歴史、これからを学ぶ ②市民活動、企業、学校、市役所など、様々な環境への取組を知り、自分たち、家族で出来ることを考える。 (実際に地域で環境に取り組む市民から、聞くことも可。) ※参考：環境副読本「わたしたちのくらしと環境」	約40分	環境教育学習プロジェクト
	25	「総合的な学習の時間」、「探究学習」への支援	導入・展開に資する種々のプログラム提供、地域の市民・企業の環境活動・社会貢献等の取り組み情報の提供、学習進行への支援など。	「水、川、地域の取り組み」「緑化の効用、地域の取り組み」、「生物多様性」「学校施設の適正利用、省エネ」「市民、企業の環境への取り組みから将来の進路を考える」	—	環境教育学習プロジェクト
	26	「総合的な学習の時間」のSDGs活用支援	SDGsの17のゴールを提示しつつ様々な課題を解決するための情報の提供と学習支援を行います。市内事業者・団体のSDGsの取り組み紹介および学習進行の支援をします。	環境問題だけでなく、平和人権・まちづくりなど多様な視点を通じて、持続可能な社会を作るための支援を行います。市内事業者・団体のSDGsの取り組み紹介なども行います。	—	川崎市地球温暖化防止活動推進センター
	27	みんなで作る「暮らしのエコ化計画」の活用	脱炭素と私たちの暮らしを結びつけるポイントをテーマごとの資料とワークシート、新たに教師用資料もセットで作成。進め方の相談から実施のお手伝いをします。	みんなで作る「暮らしのエコ化計画」は当センターのHPに掲載。ギガ端末からアクセスすることが可能。資料：「気候が危機に」「カーボンフットプリント」「食品ロス」「プラスチックごみ」「衣服をエコに」「家庭の省エネ」「家庭のエネルギー」、各ワークシート、別冊で教師用資料。	—	川崎市地球温暖化防止活動推進センター



エコちゃんず

川崎市地球温暖化防止活動推進センター

川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2 11階エレベーターホール前
電話044-813-1313 ファックス044-330-0319
メール office@kwccca.com



ダットン・バアズ